

## 新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえて、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、整備を進めている新たなごみの資源化施設について、2017年3月以降の進捗状況等を報告いたします。

### 1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

#### （1）相原エリア

「相原地区資源ごみ処理施設連絡会」における施設計画等の検討結果を踏まえて、発注仕様書の検討を行っています。また、資源ごみ処理施設の建設用地に関しては、引き続き調査及び地権者との調整を行っています。

今後、「相原地区資源ごみ処理施設連絡会」では、事業の進捗に合わせて発注仕様書の確認や施設の運営等に関する検討を進めていきます。

#### （2）上小山田エリア

「上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会」において、周辺環境へ配慮した施設計画の検討を進めていきます。

### 2 熱回収施設等（熱回収施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

#### （1）地区連絡会

第13回「町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」を2017年4月13日に開催し、熱回収施設等の外観デザインについて検討を行い、事業者が提案した3案のうちA案が選考されました。この結果を受け、5月16日に開催した第19回町田市循環型施設整備推進本部会議において、外観デザインを別添資料1のとおりA案に決定しました。今後は、ホームページや広報等で広く市民にお伝えしていきます。

また、第14回「町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」を2017年5月31日に開催し、事業の進捗状況等について説明しました。

#### （2）事業の進捗状況について

2017年7月の工事着工に向けて、設計協議、施設整備に伴う法令手続きや調整を進めています。6月17日には起工式を行う予定です。

また、周辺住民に向けた工事説明会を、5月19日には忠生市民センター、5月20日には小山田小学校と小山田南小学校、5月28日には函師小学校で実施し、延116名の方々にご参加いただきました。いただいた意見等を踏まえ、安全や周辺環境に配慮した対策を講じて、7月から工事を進めていきます。

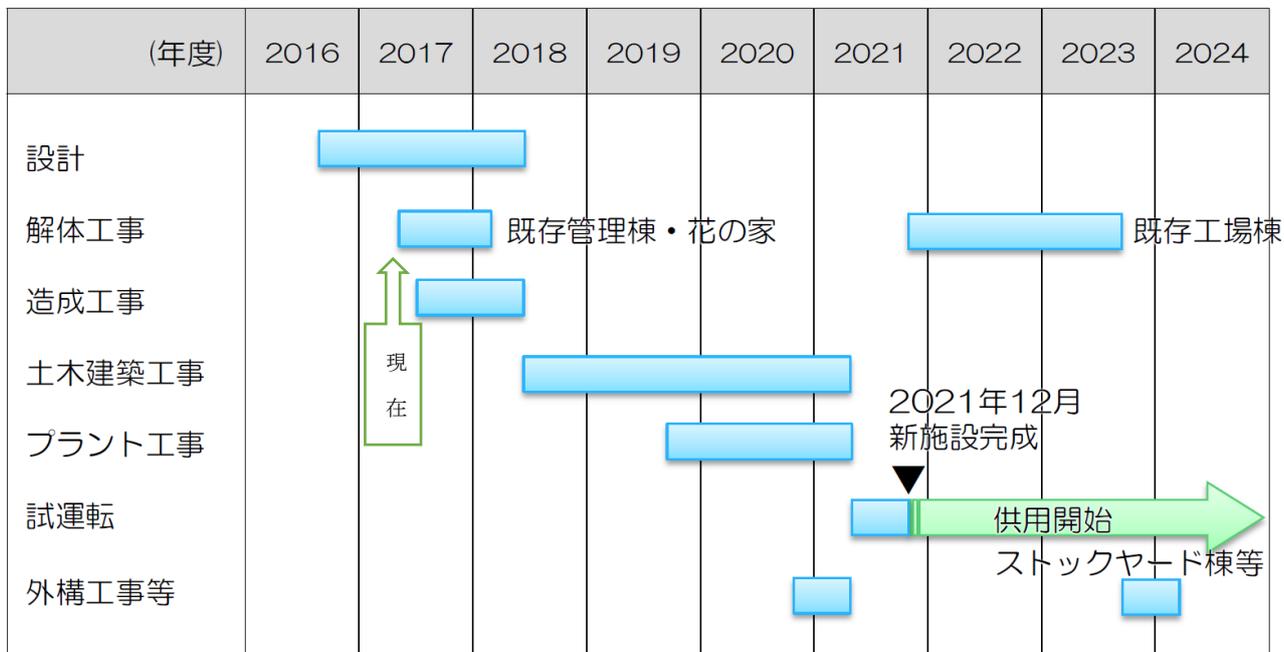
(3) 今後のスケジュール（予定）

2017年6月17日 起工式

2017年7月 工事着工（解体、造成、建築）

2022年1月 熱回収施設等の整備完了／ 熱回収施設等の運営開始

2024年6月 既存工場棟等の解体撤去、外構工事等の完了



## 町田市熱回収施設等の外観デザインが決定しました。

新たな熱回収施設等（仮称）の外観デザインについては、地域の意向を反映するため、周辺住民の代表で構成された「町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」（以下「地区連絡会」）で選考していただき、下記の A 案に決定しました。

### 1. 選定方法

各委員が外観デザイン案について、選考理由やそれに至った経緯・背景等について意見を述べ合い、最終的に多くの委員から好評を得た外観デザイン **【A案】** が選考されました。

### 2. 地区連絡会での検討結果

新たな熱回収施設等の外観デザインについて、2回にわたり議論を行いました。

#### 第12回町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（2017年2月8日開催）

事業者が「デザインコンセプト」及び「外観デザイン3案比較（A・B・C案）」についてプレゼンテーションをした後、質疑応答を行いました。各委員は次回までに各案の検討を行うこととなりました。

#### 第13回町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（2017年4月13日開催）

施設整備を行う事業者から3つのデザインを提案してもらい、この3案について地区連絡会にて議論していただき、その結果を受け市で決定いたしました。

### 3. 地区連絡会での意見の概要

#### A 案



屋根に曲線を配置してやさしいイメージをもち、先進的で印象的な外観はここに集う市民の誇りとなるデザイン

- 開放的なガラス張りのデザインが、周辺施設との一体感を感じる。
- 今までの清掃工場のイメージとは違い、未来的で斬新なデザインであり、地域に開かれたイメージが表現されている。
- 次世代の子供たちにも喜ばれると思われる。



ゲートテラス アイレベルパス



南東アイレベルパス



外観デザイン A 案(イメージ図)